2016年度 政務活動費の市民公開

7/25

総務部長 加藤よう子（座間市民ネット／市議）

神奈川ネット事務所（横浜市中区）にて、2016年度の政務活動費（報告書・成果物・会計諸票・領収書）の市民公開を実施しました。

現在、議員の政務活動費は各自治体の議会事務局や市民情報コーナー等で気軽に閲覧することができますが、かつては情報公開等の手続が必要な中、神奈川ネットは当初から市民公開を実践してきました。活用についてのガイドライン、活用と公開についての自主管理基準を持ち、市民とともに政策形成に取り組んでいます。第一義は市民への公開ですが、同時に議員同士の相互牽制・共育の場ともなります。

当日は、参加者が報告書に付箋を付け、気になる点について意見交換をし、自治体間の差異も判明しました。政務活動費を政策づくりに生かすとともに、議会の透明性を高めるために制度の見直しを提案していきます。

政務活動費を巡る事件が絶えない中、神奈川ネットでは説明責任を果たすためにも、また市民との政策形成活動を知らせていくためにも、身近な各地域でも市民公開を行っていきます。

伊勢原 地域のうごき

就学援助費の入学学用品費倍増と早期支給決定

土山由美子（ネット伊勢原／市議）

伊勢原市の要保護・準要保護就学援助費のうちの『入学学用品費』を、2017年度から小学校では2万470円から4万600円へ、中学校では2万3550円から4万7400円に引き上げる補正予算案が6月13日に可決しました。支給金額の基準となる国の要綱が改正されたためで、補正額は小学校と中学校を合わせて、総額835万5000円です。同時に支給時期も8月から3月へ早まる予定です。

早期支給は、小田原市・大和市（12月）・海老名市（1月）が実施を決めていますが、『入学学用品費』の引き上げ額については、近隣市の中では伊勢原市が最高額です。

中学校入学時には、制服・体操着などおよそ10万円の出費が見込まれます。入学前に買い揃える準備期間を考慮し、直前の3月より早めることはできないかと質問しました。答弁では、「他市について調査検討する」と早める可能性も示しましたが、「市外への進学状況等の確認が重要である」として3月支給を固持する姿勢でした。

『入学学用品費』を必要とする保護者が安心して買い揃えることができる時期の支給を検討するべきです。引き続き改善を求めていきます。

県議会だより

すべての子どもや親の育ちを支える

佐々木ゆみこ（ネット宮前／県議）

高知県では、働く家庭だけでなく、すべての子どもや親の育ちを支えたいと県の単独事業で「多機能型保育事業」を 2016 年度から始めています。この事業をテーマに開催された学習会に参加しました。

高知県では 1 歳児の 60%、2 歳児の 70%が保育園に通っています。産休が明けると、すぐに働きだすことも珍しくありません。本来なら、短時間労働のケースは一時保育制度を利用できれば良いのですが、一時保育の受け皿は不足しています。また、仕事をしながら子育てする人たちに向けて、親育ち支援も行うなど、柔軟で多様な子育て支援が必要との判断で、多機能型保育事業が始まりました。この事業は、県が主導し民間保育所で一時保育や地域交流などを行うものです。現在高知市内で 2 ヵ所開設されていますが、市町村や民間事業者もまだまだ事業の必要性のイメージが掴めていないという課題もあるようです。

学習会では、横浜市で多機能型事業を展開しているピッピ保育園の実践報告や、高知市の 2 つの多機能型保育事業の事例報告もあり、事業の広がりが期待される交流会でした。 子育てを社会全体で支える視点を持つ地域が増えることが、制度を動かすことにも繋がります。現場の声が子育て世代を支える施策の充実につながるよう、県の役割も改めて考えていきます。

議員の年金制度にやっぱりNO! 各地域でアピール

自民党プロジェクトで議員の新たな年金制度の整備に向けて、法案準備が進んでいます。今こそ地域から「NO!」の声を挙げていきます。

▲8/9青葉台駅（ネット青葉）

▲8/8 OKストア前（ネット伊勢原）

▲8/3南林間駅（大和市民会議）

◀8/8座間駅（座間市民ネット）

NPOメール No.80

横浜なないろ親の会　（市民社会チャレンジ基金第24期助成団体）

発達障害児をサポート

代表 金屋由日里

横浜なないろ親の会は、横浜市情緒障害通級指導教室の保護者会の平成26年度役員有志によって平成27年に設立しました。

現在の主な活動は①明星大学教育学部教授星山麻木氏による発達サポーター講座（基礎b）の開催②気軽に集まってお話をする茶話会（フィーカ）の開催③横浜市内の公立小中学校で特別支援教育支援員をしている仲間が集まる支援員交流会開催、を行っています。

発達サポーター講座では毎回60名を超える受講者があり、学びを必要としている方の多さを感じます。一方で、多くの方に講座を受講してほしいと願いつつも、会場の準備等で受講人数に制限があるのが現実です。この講座を通して人間理解の学びをより多くの方に届けるということは、今後の課題だと思っています。

昨年度は、スタッフ9名が星山教授とともに、横浜市長とのティー・ミーティングに伺う機会がありました。【子育て】というテーマで、私たちが子育てで経験し思ったこと感じたことなどを話し、市政に関する希望や願いを届けてきました。市長からは私たちの思いをしっかりと受け止めて下さったと感じられるあたたかいコメントをたくさん頂きました。しかし、私たちの活動の社会的な認知度は低く、市政を動かすことのむずかしさも感じています。

私たちの活動も3年目に入りさまざまな課題が見えてきましたが、今後も子育てで悩んでいる保護者、学校や地域でボランティアや支援員として活動されている方、これから活動したいとお考えの方、そして特別支援のことをもっと学びたい方々がつながり、すべての子どもたちと親が安心して暮らしていける社会になることを願い、活動していきたいと思っています。

https://yokohama-nanairo.jimdo.com/

編集後記

第3次安倍改造内閣がスタートした。森友・加計問題や自衛隊のPKO日報問題などで急落した支持率を回復せんと、「仕事人内閣」として、お友達内閣から経験者やベテランを配した布陣となった▼しかし、早期解散説が浮上するなど先行きは不透明だ。こんな時期にも関わらず民進党は代表が辞任し、離党者が出る始末。政権が弱体化している今こそ、受け皿として機能しなくてはならないが、政権交代可能な勢力となるには道は険しい▼一強政治では政権の暴走は止められない。（C・M）

神奈川ネットは、地域政党です。

生活の課題は政治に直結しています。
国の政党が、地方の政治までコントロールするのではなく
多様な地域政党が政策を競い
住みやすいまちをつくる
社会をめざします。

それって、政治だよ。

今月の神奈川ネット

■市民の生活・活動法律相談：8/16（水）■第6 回運営委員会：8/22（火）■介護保険 PJ：8/23（水）■子ども・子育て支援制度調査チーム：8/28（月）■パワーシフトもっと見える化アクションチーム：8/29（火）